開館60周年

シャルロット・ペリアンと日本

2011年10月22日(土)→2012年1月9日(月・祝)

The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館　鎌倉
The Museum of Modern Art, Kamakura

248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53 TEL.0467-22-5000 http://www.moma.pref.kanagawa.jp

Charlotte Perriand et le Japon

Photo: Shizuka Suzuki

開館時間／午前9時30分→午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日／月曜日(1月9日は開館)、12月29日(木)→2012年1月3日(火)
観覧料／一般900円(団体800円)、20歳未満と学生750円(団体650円)、65歳以上450円、高校生100円
()内は20名以上の団体料金です。中学生以下と障害者手帳をお持ちの方は無料です。
ファミリー・コミュニケーションの日：
毎月第1日曜日(今回は11月6日、12月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。
開館60周年記念　無料開館日　11月17日(木)：この日は、神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご観覧いただけます。

主催／神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛／ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
後援／フランス大使館、日仏工業技術会、日仏美術学会、日本建築学会、日本建築家協会、日本インテリア学会
特別協力／Archives Charlotte Perriand, Paris
協力／AIRFRANCE　CASSINA IXC. Ltd.　Cassina

オンブル／1954年

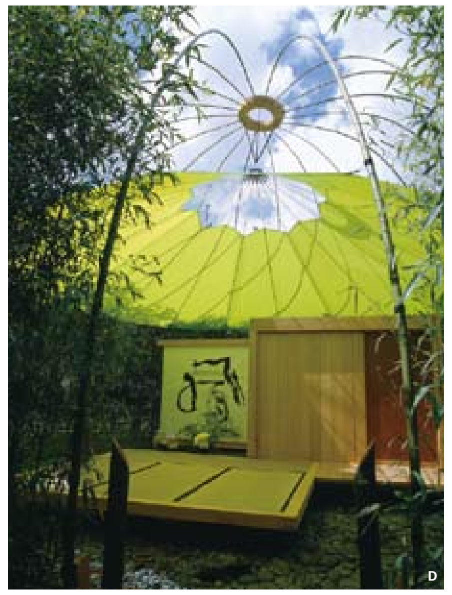
シャルロット・ペリアンと日本

20世紀の建築とデザインに画期的な刺激をもたらしたシャルロット・ペリアン（1903-1999）は、巨匠ル・コルビュジエとその従兄ピエール・ジャンヌレとの共同作業を経て、建築とインテリアに数々の優れた作品を残したフランスの女性デザイナーです。1940年の初来日以降、たびたび日本を訪れたペリアンは、日本を愛し、また多くの日本人に愛されてきました。今回の展覧会では、戦前戦後を通じて日本のデザイン界に多大な影響を与えたシャルロット・ペリアンと日本の関係に注目しながら、彼女の仕事の今日的意義をさぐります。

シャルロット・ペリアンは、1927年のサロン・ドートンヌに出品した「屋根裏のバー」が認められ、ル・コルビュジエのアトリエに入所しました。そこでル・コルビュジエとピエール・ジャンヌレとともに手掛けた鉄やアルミニウム、あるいはガラスといった新しい素材を用いた内装は、「住宅インテリア設備」として、住宅に新しい概念をもたらしました。
1940年にペリアンは、かつてル・コルビュジエのアトリエで同僚だった坂倉準三や柳宗理の推薦によって、商工省の「輸出工芸指導顧問」として初来日します。海外向けの工芸品の改良・指導をまかされ、柳宗理とともに日本全国をまわり、仙台の工芸指導所では若い研究員たちに、素材の扱いやデザイン手法など、ヨーロッパのモダン・デザインの実際を示しました。
日本滞在中に「民藝」運動の推進者である柳宗悦や河井寛次郎らと交友したペリアンは、「民藝」の理念に触れ、また地方に残る伝統的な意匠や素材、技術を同時代の感覚と結びつける試みをしました。1941年の「ペリアン女史　日本創作品展覧会　2601年住宅内部装備への示唆」（通称「選擇、傳統、創造展」）で発表した《竹製シェーズ・ロング》はそのひとつです。このほかにも、彼女が提案した竹や木を素材とした合理的かつ現代的なデザインは、当時の日本のデザイン界に強く深い示唆を与えました。それは戦後のデザインにも鮮明な流れとなって残り、今なお絶えず更新されながら脈々とつづいています。
1953年に再び日本を訪れたペリアンは、東京で「芸術の綜合への提案 ── コルビュジエ、レジェ、ペリアン3人展」（1955年）を開催。文楽から着想した椅子《オンブル（影）》をはじめ、違い棚をヒントにした《ビブリオテック・ニュアージュ（書架・雲）》など、戦前の自身の日本体験をデザインに生かした数々の名作を生み出し、高い評価を得ています。
パリにあるシャルロット・ペリアン・アーカイヴの全面的な協力を得て開催される本展では、家具、インテリアに関する図面、写真資料のほか、ペリアンが撮影した写真、交友のあった日本の人々との書簡など約500点を紹介します。ペリアンと日本人との間の感性の共鳴とその波及をたどりつつ、21世紀の建築やデザインを考える機会となれば幸いです。

シャルロット・ペリアン（1903-1999）略歴

1903年	パリに生まれる
1927-37年	ル・コルビュジエのアトリエに入所
1940年	商工省の招聘を受け、輸出工芸指導顧問として来日
1941年	東京と大阪の髙島屋にて「ペリアン女史　日本創作品展覧会　2601年住宅内部装備への示唆」（通称「選擇、傳統、創造展」）開催
1946年	仏領インドシナを経由して、フランスに帰国
1955年	東京の髙島屋にて「芸術の綜合への提案 コルビュジエ、レジェ、ペリアン3人展」開催
1985年	パリの装飾美術館にて「シャルロット・ペリアン、生きる芸術展」開催
1996年	ロンドンのデザインミュージアムにて「シャルロット・ペリアン、モダニスト・パイオニア展」開催
1999年	パリにて逝去



A／シャルロット・ペリアン、銚子にて、1954年
撮影：ジャック・マルタン
B／シャルロット・ペリアン「選擇・傳統・創造展」東京髙島屋会場、1941年　撮影：フランシス・ハール
C／「芸術の綜合への提案 ──コルビュジエ、レジェ、ペリアン3人展」会場、1955年
D／ユネスコ庭園内のシャルロット・ペリアンの「茶室」、パリ、1993年
撮影：ペルネット・ペリアン＝バルザック、ジャック・バルザック

All Rights Reserved, Copyright ©Archives Charlotte Perriand
– ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2011

[関連企画]

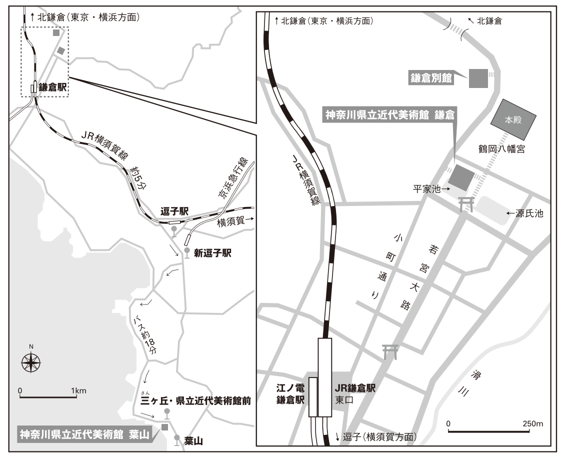
●国際シンポジウム

「シャルロット・ペリアンと日本 ── モダニズムと伝統の融合」
基調講演／ジャック・バルザック（ペリアン研究美術史家）
パネリスト／ペルネット・ペリアン＝バルザック（シャルロット・ペリアン・アーカイヴ代表）、ジャック・バルザック（ペリアン研究美術史家）、アンヌ・ゴッソ（ボルドー第三大学准教授、CRCAO研究員）、土田眞紀（帝塚山大学非常勤講師）、豊川斎赫（国立小山工業高等専門学校建築学科准教授、芝浦工業大学大学院非常勤講師）、森 仁史（金沢美術工芸大学教授）
司会／松隈 洋（京都工芸繊維大学美術工芸資料館教授）
日時／2011年10月23日（日）午後1時30分→4時30分（予定）
会場／日仏会館ホール、恵比寿
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿3-9-25
定員／120名（要申込、先着順受付）通訳あり、無料
申込方法／住所、氏名、電話・FAX番号、メールアドレスをご記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。
申込先／FAX：0467-23-2464
メール：public@moma.pref.kanagawa.jp
主催／神奈川県立近代美術館
後援／フランス大使館、日仏工業技術会、日仏美術学会、日本建築学会、日本建築家協会、日本インテリア学会
協力／AIRFRANCE
助成／公益信託タカシマヤ文化基金、財団法人吉野石膏美術振興財団、公益財団法人ポーラ美術振興財団 POLA ART FOUNDATION

●担当学芸員によるギャラリートーク

11月12日（土）、12月17日（土）午後2時から
申込不要、無料（観覧券が必要です）
その他の関連企画につきましては美術館ホームページをご覧ください。

[お知らせ]
そごう美術館　10月22日（土）→12月4日（日）
「没後50年・日本民藝館開館75周年　柳宗悦展 ── 暮らしへの眼差し」
目黒区美術館　10月29日（土）→12月25日（日）
「DOMA 秋岡芳夫展 ── モノへの思想と関係のデザイン」



[優待のご案内]
「シャルロット・ペリアンと日本」展有料観覧券（65歳以上券、高校生券を除く）の半券をご提示いただきますと、本展会期中に限り、葉山館の展覧会を優待料金でご覧いただけます。
[同時開催]
神奈川県立近代美術館　葉山　TEL. 046-875-2800
10月22日（土）→11月23日（水・祝）
「川合玉堂展　描かれた日本の原風景」
12月3日（土）→2012年1月29日（日）
「ベン・シャーン　クロスメディア・アーティスト ── 写真、絵画、グラフィック・アート」
神奈川県立近代美術館　鎌倉別館　TEL. 0467-22-7718
10月22日（土）→2012年3月25日（日）
「開館60周年　日本画 ── ザ・ベスト・コレクション」

[交通案内]
公共交通機関利用の場合
JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉」駅下車、徒歩10分
横浜横須賀道路利用の場合
朝比奈ICから鎌倉霊園を経由して鶴岡八幡宮前へ約4km

The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館の最新情報は、ホームページでもご覧いただけます。

神奈川県立近代美術館　鎌倉
The Museum of Modern Art, Kamakura
248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53 TEL.0467-22-5000 http://www.moma.pref.kanagawa.jp